

2009年11月9日(月)

笹川平和財団

【災害応急マニュアル作成研修】

四川大地震の被災地より行政官・有識者 20 名が来日します

笹川日中友好基金が支援・実施する「災害マニュアル作成支援」事業の一環として、2009年11月8日～18日に中国・四川省より行政官・有識者20名が来日します。

一行は、四川大地震の経験を基に被災地のニーズに配慮した災害応急マニュアルを整備することを目的に神戸で研修を受けるほか、内閣府、兵庫県、神戸市などへの表敬、新潟・中越地震の被災地訪問などを行います。研修を実施するにあたっては、兵庫県の行政・教育機関・民間団体と協力し、リスク管理、災害復旧、防災教育/訓練、都市危機管理、企業の防災管理、災害情報発信、NGO/NPOの参画、心のケアなどがテーマとなる予定です。

一連の業務は、中国側の提携先である中国人民大学公共管理学院と連携の下、日本中国アジア経済戦略フォーラムが実施します。

本研修を通じて、地震大国である日本の経験や専門性が共有され、四川大地震の被災地、ひいては中国国内のその他地域における災害応急マニュアル整備に貢献することが期待されます。

